

外国人労働者数が過去最多 約3万人、19番目の多さに

2026.01.30

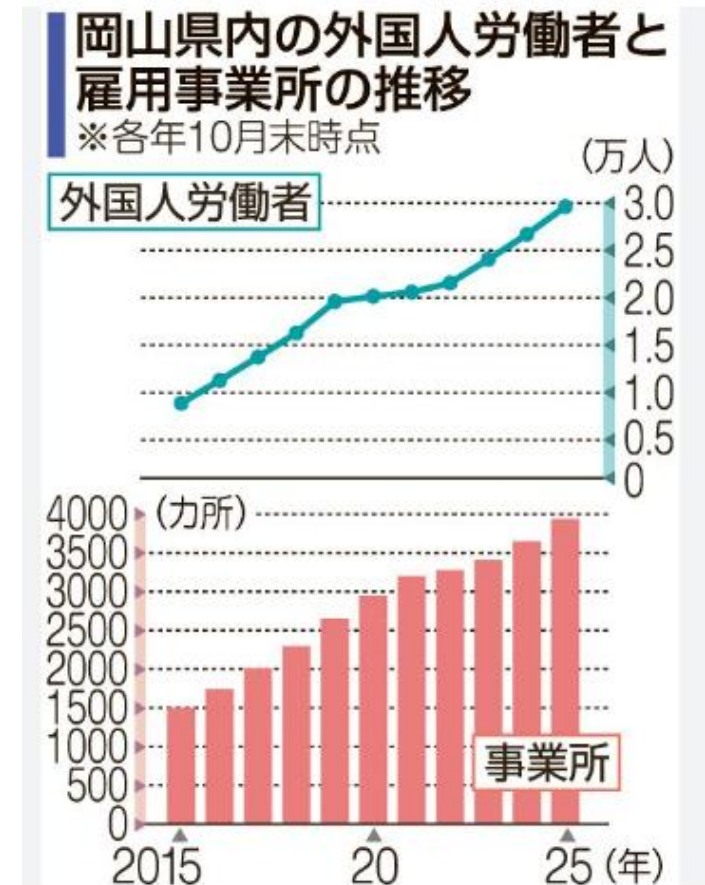
岡山労働局は令和8年1月30日、令和7年10月末時点の「外国人雇用状況」届出状況をまとめ、外国人労働者数が過去最多になったと発表した。

届け出のあった外国人労働者数は2万9612人で、前年同期比11.0%増となり、47都道府県のうち19番目に多い水準だった。

国籍別ではベトナムが全体の約4割となる1万1802人で最多、インドネシア3876人、中国3146人が続いた。

産業別では製造業が1万2092人で最も多く、卸売業・小売業4221人、建設業2771人と合わせて全体の64.4%を占めた。

岡山の外国人労働者数は2014年度の8160人から毎年増加を続けている。



外国人材等支援推進計画を策定 条例に基づき初の総合計画

2026.03.27

岡山県は令和8年3月27日、「岡山県外国人材等支援推進条例」に基づき「岡山県外国人材等支援推進計画」を策定したと発表した。

人口減少による労働力不足を背景に外国人労働者や留学生が増加する一方、不当な扱いや文化・言語の違いによる課題が存在することを踏まえた計画である。

地域住民との共生の下で外国人材等を受け入れ、安心して働き、生活し、活躍できる社会の実現を目指す内容となっている。

策定にあたり県は推進協議会を令和7年度に4回開催したほか、県内企業の雇用実態調査や在住外国人の生活状況調査、留学生の進路意識調査も実施した。

所管は産業労働部労働雇用政策課。

岡山県外国人材等支援 推進計画骨子案のポイント

基本目標として「魅力ある働き先として選ばれる県へ」を設定

外国人材の活躍、外国人との共生、市町村・関係機関との連携を3本柱とする

受け入れ課題として①言葉の壁②文化・習慣の違いによる摩擦③行政手続きの複雑さ④生活支援の不足⑤地方から大都市圏への流出一を指摘

外国人介護人材の受入環境整備事業 募集締切は6月30日

2026.06.19

岡山県子ども・福祉部地域福祉課は、外国人介護人材を受け入れている（受入予定を含む）県内介護保険施設等を対象とした「令和8年度岡山県外国人介護人材受入環境整備事業」について、令和8年6月19日付けで募集締切が間近だと呼びかけた。

補助対象は、外国人介護人材への日本語学習支援や生活相談対応など、コミュニケーション支援やメンタルヘルスケアに係る経費である。

補助率は3分の2で、1施設当たりの上限は20万円、複数施設を運営する法人の場合は1会計年度につき5施設まで申請できる。

募集期間は令和8年4月15日から6月30日までで、外国人材の就労・定着環境の底上げを図る狙いがある。

出典：岡山県ホームページ <https://www.pref.okayama.jp/page/1041866.html>

官（自治体等）
（関連画像 準備中）

留学生キャリア支援プログラム 文科省の認定制度に採択

2026.04.07

国立大学法人岡山大学は令和8年4月7日、開発した「おかやま留学生キャリア支援プログラム」が文部科学省「令和7年度留学生就職促進教育プログラム」に認定されたと発表した。

同制度は外国人留学生への日本語教育・キャリア教育・インターンシップを一体提供する教育プログラムを文科省が認定するもので、修了者は就職活動で修了証明書を提示できる。

対象は日本での就職を目指す学部1～3年生と大学院1年生の留学生で、令和8年度から実施し、地元企業でのインターンシップも組み込む。

外国人留学生の就職支援と地域定着の促進が期待されている。



出典：岡山大学（PR TIMES）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000003928.000072793.html>